

## 「第3回日仏自治体交流会議」の概要

2008年の日仏交流150周年を記念し、姉妹都市関係にあるフランス共和国ナンシー市と金沢市の呼びかけにより、両国自治体が保有する「知と経験」の共有を目的に、同年10月に日仏の姉妹・友好関係にある自治体の首長級が一堂に会し、「第1回日仏自治体交流会議」をナンシー市で初開催。2010年5月、金沢市で第2回会議開催。「地方ガバナンスと持続可能な発展」をテーマに両国が抱える共通の課題について議論。

2012年8月、フランス・シャルトル市で第3回会議を開催。会議最終日には、特に先進的な地域間交流を行った自治体に「日仏交流優良賞」を授与するとともに、今後の日仏自治体交流の発展に向けた共同宣言を採択し、次の開催地を決定する予定。

### 記

- 1 日 時 2012年8月28日(火)～8月30日(木)
- 2 会 場 フランス シャルトル市 シャルトル市庁舎、シャルトル劇場等  
(ウール・エ・ロワール県の県庁所在地。パリから南西に列車で1時間)
- 3 会議日程 8月28日(火) 歓迎レセプション〔シャルトル市庁舎〕  
29日(水) 開会式、全体会〔シャルトル劇場〕、分科会〔シャルトル市庁舎〕  
30日(木) 分科会総括、日仏交流優良賞授与、閉会式〔シャルトル劇場〕
- 4 会議(全体会、分科会)概要  
「グローバル化への対応に向けて、自治体は如何に備えるべきか」とのテーマのもと、全体会で日仏両国の代表者が発表後、3分科会に分かれて発表と討論を行い、日仏自治体の持続的発展に向けて会議の成果を共同宣言として発表する予定。  
【分科会テーマ】  
分科会 : 経済の革新、分科会 : 文化の革新、分科会 : 持続可能な発展、生活環境における革新
- 5 参加者(2012.8.21現在)  
【日本側】15自治体の首長等(全体会発表者:仙台市、岐阜県、兵庫県/分科会 参加者:甲府市、甲州市、佐久市、桜井市、高松市/分科会 参加者:富岡市、新潟市、金沢市、朝来市/分科会 参加者:松島町、白河市、佐賀市)  
【仏側】22自治体の首長等(オータン、バルビゾン、プレスト、シャルトル、ナント、コンピエーニュ、アヴェロン県、セヌ・エ・マルヌ県、ヴァルドワーズ県、ノール県、クサク・フォルメドック、ディーニュ・レ・バン、グルノーブル、イッシー・レ・ムリノー、マラコフ、マルセイユ、ナンシー、パリ、ポー、レンヌ、トゥール(Toul, ムルト・エ・モゼール県)、トゥール(Tours, アンドル・エ・ロワール県)  
過去の参加自治体数実績:第1回会議:日本側12・仏側17、第2回会議:日本側26・仏側18
- 6 主催者  
第3回日仏自治体交流会議推進委員会  
【日本側】委員長:金沢市長/構成団体:会議参加自治体等、(財)自治体国際化協会、総務省、外務省、全国市長会、全国町村会、駐日フランス大使館/事務局:(財)自治体国際化協会、金沢市  
【仏側】主催:シャルトル市、ナンシー市、コンピエーニュ市、フランス都市連合、フランス外務省、在仏日本国大使館/構成団体:会議参加自治体